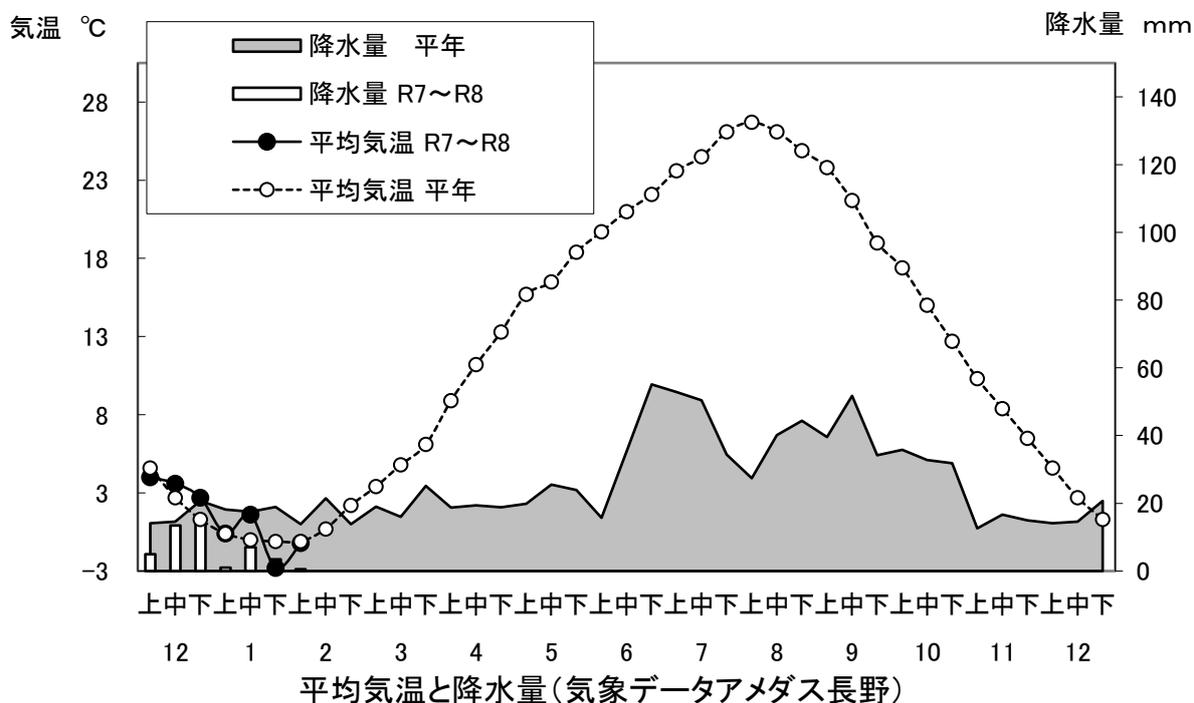


# 農作物の生育状況（2月16日現在）について

令和8年2月15日  
長野農業農村支援センター

## 【気象データ】



## 【果樹】

高温傾向により生育の前進が予想される。せん定作業は計画的に進める。

2月12日現在のさくらの開花予測（ウエザーニュース）は4月10日となり、平年より1日程度早い。今後の気象状況や自分の園地の生育に注意し、発芽前防除や芽傷処理、摘蕾作業等、時期を逸しないようにすることが重要。また、燃焼資材の準備、防霜ファンの点検を早めに行うようにする。

## 【野菜】

### (1) 果菜類

燃料費高騰によりハウス内の設定温度を上げられず、全体に生育等が遅れる傾向にある。ハウス内の点検を行い、暖房効率を高めるとともに、局所加温等の工夫を行い燃料費の削減を検討したい。

イチゴについて、定植の遅れにより開花が遅れている。樹勢を低下させないために、枯葉除去、収穫できない小果は摘果を行っている。